

メディアが流す情報にコントロールされていませんか？

メディア・リテラシー

メディアから発信される情報には、たくさんの価値観をコントロールする要素が隠れています。

今まで何気なく受け流していた情報も、ちょっと立ち止まって考え、あなたのメディア・リテラシーを高めてみませんか？



★メディア・リテラシーとは・・・

メディアから発信される情報をそのまま受け入れるのではなく、客観的に読み解き、主体的に使いこなす能力のことをいいます。



★メディアとは・・・

主にテレビ、新聞、ラジオなどのマスメディアを指しますが、映画や書籍、雑誌などの出版物、さらには広告、コマーシャルなど、さまざまなものが含まれています。

また、最近ではインターネットも重要なメディアとなっています。

携帯電話のコマーシャルで「可愛くって、しかも操作が簡単！女性向き。」と言っていたけど、女性には簡単なものがあるの？

新聞広告で「男は本物志向」って、書いてあったけど、男性はみんなそうでないといけないの？

テレビのバラエティ番組を見ていたら、「女は愛嬌、男は度胸」って言うていたけれど、それっておかしい？



情報を読み解こう



性的な表現

視覚に訴えるメディア（テレビや新聞など）において、ポルノグラフィや性の商品化等、女性を性的な対象として表現上用いるシーンが数多く存在します。

このような表現は、女性を性的対象物としてのみ扱う意識を助長する可能性があります。

性別役割分担

テレビの番組やコマーシャル、雑誌の記事など何気なく見ているものの中に、「男は仕事、女は家庭」といった「性別役割分担意識」が含まれていることがあります。

テレビドラマで、管理職は男性で、コピー取りやお茶だしは女性だったり・・・

このようなシーンが繰り返し流されることで、男性が仕事に就き、家事などは女性がするといったイメージが刷り込まれることになります。

言葉の中の性差別

男性と女性では、同じことをしていても表現が異なることがあります。

女性市長、女性アナウンサー、女流作家などという言葉に男性に置き換えると、男性市長、男性アナウンサー、男流作家と聞きなれない言葉になります。

この背景には、男性が普通で、女性の場合は特別であるという意識が隠れています。

言葉や表現について改めて見直すと、このように男性と女性が等しく扱われていないことが分かります。



情報を活用するために

メディア・リテラシーの次のステップとして、読み解いた情報や自分が伝えたいことを正しく発信する力も要求されます。

インターネット等の普及により、情報を受けるだけでなく、主体的に発信する機会も増えています。

情報を発信、活用するために次の点に注意しましょう。

- ・性別で表現を変えない
- ・両性を同じ敬称で取り扱う
- ・固定観念を捨てる
- ・表現される人や見る人・聴く人の人権に配慮する

作成／岩国市総務部人権課男女共同参画室

岩国市今津町一丁目 14-51 TEL0827-29-5340 FAX 0827-21-1660

MAIL joseigyo@city.iwakuni.lg.jp